



品川シルバー大学同窓会

2023年1月10日

第101号

会報

品川シルバー大学同窓会 事務局
TEL 070-8412-0523
ssu.dosokai.jm@gmail.com

見学会・講演会のメールでの申込みは ssu.dosokai@gmail.com (問合せ080-6634-6797)

新年のご挨拶

品川シルバー大学同窓会 会長 保坂 駒雄

会員の皆様には健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年も新型コロナの影響は収まらず、社会経済活動も種々制限されました。世界的には、ロシアのウクライナ侵攻それに

伴う食糧・エネルギー価格の高騰やサッカーのワールドカップ・カタール大会での日本チームの活躍など悲惨な出来事、勇気づける出来事、悲喜こもごもな1年でした。

一方同窓会活動は、定期総会は書面により行いましたが他の講演会・見学会・会報等については皆様のご協力のもと概ね計画通り実施することが出来ました。今後とも事業の実施に当たっては、コロナ感染状況、国や都・区の対策等も勘案しつつ感染症対策の基本的対応を怠ることなく、会員の皆様のご期待に沿うべく各種活動に取り組んでまいります。今、同窓会はシルバー大学修了生の減少に伴う会員数の減とそれに伴う財政（収入）の悪化が大きな課題となっております。2023年度の予算においては、その改善への道筋をつけるべく検討を進めております。これらの課題や同窓会活動の活性化のためにも皆様の積極的な御意見を是非お願い致します。

最後に会員の皆様にとってこの1年が佳き年となりますよう祈念すると共に同窓会の更なる発展のため一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



令和4年度 第4回見学会

ガイドと歩く『文明開化の築地・明石町』

日時：2022年11月8日（火）参加87名

「文明開化の築地、明石町散歩」に参加して



雲一つ無い青空の下、見学会が開催されました。集合は築地本願寺正面入口。メンバーが揃った班からガイドさんと共に次々と出発していく中、私の班は2名の方が連絡も無く欠席され、結局予定の10時半から5分以上遅れての出発となりました。役員さんもガイドさんも早くから用意してくださっていますし、団体行動ですのでお互いに気をつけたいと思います。

まずは築地本願寺。昔は、現在の向かって右側が正面で、築地場外市場が参道だったそうです。関東大震災の後、伊東忠太の設計により、古代インド仏教様式で再建された本堂は、狛犬ならぬ翼の生えた獅子がお出迎え。重厚で歴史を感じさせる造りでしたが、設備は近代的だそうで、当日も「園児の報恩講」が行われており、大勢の園児や保護者の方が集まっています、江戸時代から現在まで400年以

上も現役として歴史を重ねてきているのは素晴らしいことだと思いました。



続いて、もし埋め立てられていなければ「東洋のベニス」になっていたかも…という築地川公園を経て浅野内匠頭邸跡へ。築地は明暦の大火後、古地図では白で表現される大名屋敷が構築され、わずかにグレー表記の町人地も置かれたそうです。明治になると大名屋敷跡に外国人居留地が開設されたが、商業的には横浜に負けて、キリスト教布教の地として発展したそうです。その後米国聖公会宣教師のトイスラー夫妻が来日して聖路加病院を創立。内部は様々なレリーフや、柔らかく落ち着く明るさの美しい照明があり、礼拝堂に来なくても各病室で礼拝できる等、温かく慈愛に満ちた配慮を感じました。居留地の頃そのままのトイスラー記念館。



「蘭学事始」の碑。「慶應義塾発祥の地」の碑。アメリカ独立のシンボル「星・盾・白頭の鷲」の記念碑が残る「アメリカ公使館跡」を経て、気持ちの良い風が吹く中隅田川テラスへ。水面が美しく輝く隅田川を過ぎて、東京税関発祥の地である「運上所」跡。電信創業の地、「月島の渡し」跡、「軍艦操練所」跡、たった四年で消失してしまった「築地ホテル」跡、災難

を除き波を乗り切るという「波除稲荷神社」等多くの史跡を訪ねた後、「築地魚河岸海幸橋棟」屋上で解散となりました。

晴天に恵まれ、ガイドの岸本さんの、的確で分かりやすい説明のおかげで日本の歴史の流れが感じられた、有意義で楽しい見学会でした。

いつも企画運営してくださる役員の皆様ありがとうございます。

(塩家恭子 2018年入会)

ひとこと感想

- ・個人ではわからないところを、専門家の方に説明していただき、とても興味深く散策することが出来ました。難聴者の私にとっては少人数で、拡声機を使って説明されていたのでとても良くわかりました。
- ・今回は歴史建築等、興味のある事ばかりでとても楽しかったです。ガイドの方もとてもわかり易く勉強になりました。ありがとうございました。
- ・紅葉の始まった秋晴れの中、楽しみました。築地本願寺前は通って中に入り拝礼できました。月島・佃島のこと、ガイドさんの説明で歴史が分かりました。
- ・江戸時代-明治に変化した足跡が良く分かる地域でした。
- ・久しぶりに築地本願寺に来られて、興味深いコースで、文明開化の時代にタイムスリップして楽しかった。
- ・東京に住んでいながら中央区には初めてうかがいました。色々なことが学べて良かったです。ガイドさんありがとうございました。
- ・銀座まではよく来ますがここまで足をのばすことはありませんね。江戸から東京にうつるいろいろなところが大震災にあわなければ残っていたら誠に残念です。
- ・聖路加タワーなど普段見れない所を見学できてよかった。企画・運営頂いたシルバー大学役員の方々ありがとうございました。
- ・熱心に案内して頂きありがとうございました。また機会がありましたら来たいと思います。
- ・前回の豊洲に続き街の歴史をかい間みるこ

とができ大変興味深く、かつおどろきでした。又機会あれば参加します。

- ・ 出発時間を守ってほしい。ガイドさんの楽しい話、よくわかりました。
- ・ 文明開化の築地、しずかな町なみ散歩とても良かったと思いました。
- ・ 班どうしがかちあって、ゆっくり見たり説明を聞いたりしづらかった。遅刻、欠席者が来るか来ないかダラダラ待つのは時間の無駄かと思う。
- ・ 天気も良く、見学にはとても良かったです。よくを言うと、説明の方がいまいちでした。よくわからなかった。
- ・ 受付、班の標示がなく分かりづらかった。

令和4年度 第4回講演会

防災の心得～賢く生き残るために～

講師：防災士・そなエリア東京
副センター長 澤善祐 先生

- 日 時：
2022年12月15日（木）
14:00～16:00
- 場 所：
防災体験施設
“そなエリア東京”
- 参加者：60名



「そなエリア東京」で防災学習と体験」

シルバー大学同窓会のみなさん、これからかなりの高率で発生するであろう、首都直下型地震について、備えはどの位してあるでしょうか？ 12月15日南関東で、つまり私たちが



居住しているこの地において、震度6弱の地震が起きたという仮定で、江東区有明にある施設の見学、受講をしました。災害で役立つヒントを、澤講師から講演いただいたあとタブレット端末を使用して、クイズに挑みながら、被害の凄さと危険な箇所を確認見学して回りました。

大切な事は1.安全な居場所を作る。皆さんご自宅はどのようになっていますか？家具の転倒防止、ドアが開かなくならぬようにレイアウトが必要です。2.生活におけるトイレの備え。見学時には、いろいろなトイレを知り、そこでの衛生用品も必要。3.生きて行くための備蓄食品だけではなく、防災グッズの確認も必要ですね。

1階の防災クイズグッズの販売店が閉店していて残念でした。

私事ですが2011年東日本大震災、震度5弱の実際の体験はありません。11、12日と関西地方、奈良東大寺で被害状況をテレビ等で知りました。翌12日京都観光、新幹線で帰宅。子供たちには知らせずの旅に、注意を受けました。こわごわ自宅のドアを開け入室。食器等がほとんど入っていない高さのある棚が、狭い台所の冷蔵庫にぶつかり倒れていました。我が家より少し高い階の方は、食器の割れ方がひどく、大変でした。娘たちに心配をかけないよう、連絡方法も考えておくことですね。72時間生き抜くヒント集の冊子を購入しました。参考になると思います。

そなエリア東京を改めて知りました。とてもためになる講演、見学を企画していただき、同窓会の役員の皆様に感謝申し上げます。

蛭沢節子（2018年入会）

ひとこと感想

- ・実践的な良い講演でした。例①タンス等の固定は壁の裏にある柱や板材とつなぐ(今日初めて説明いただいた)。
- ②スマホは機内モードなどにして電池の消耗を防ぐ。
- ③皮手袋(例えばブタ皮)などの説明。役員の方に駅から会場までの道順に立って案内頂き感謝。
- ・具体的に体験出来てよかったですと思います。今回少し時間的に無理があったかなと思いました。今回は講演会を通して経験出来ることが実によかったと思います。
- ・大変分かりやすく身近に感じられました。タブレットの説明分かりにくかった
- ・大変分かりやすく参考になりました。早速足りない物を用意しようと思いました。
- ・品川が震源の予測にはびっくりしました。日頃の準備対策の重要性がわかりました。
- ・大変実感致しました。恐ろしいですね。今にも災害が・・・。早速準備できるものから考えましょう。
- ・タブレットを活用し楽しみながら地震の体験ができ感謝します。貴重な体験ができました。ありがとうございました。
- ・防災が叫ばれている今タイムリーな企画で良かったです。もう一度自分の回りを見直しして対処していきたいと思います。ありがとうございました。

おわびと訂正：会報100号、第3回講演会講師名欄にて神田裕子先生を「医学博士」とご紹介いたしましたが、正しくは「保健学博士」です。

川柳雑詠

紳士でなく	誰が着ても	紳士服
恋愛をしたのかねと	古い二人	
欲しいよね	ゆったり暮らす	年金が
何もかも	値上げ値上げの	年の暮れ
		きくえ
		のぼる

神田裕子先生、ならびに会員の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。心よりおわび申し上げます。

(広報部 菊島俊吉)

あとがき：新しい一年が始まりました。本年も会報発行にご協力をお願い申し上げます。新春の活動予定及び暦との兼ね合いで、原稿の締め切りが早くなりました。寄稿いただいた皆様にはご協力、深謝いたします。

「ソナエリア東京」澤講師のご協力により、当日の配布資料カラー版をしながらわすまいるネットに掲載しました。(SK)

講演会・見学会のご案内

★A講演会(第5回)

区民プロデュース型講演会

「音楽(コンサート)の楽しみ方」

講師 日本音楽高等学校

校長若林 彰先生

出演 日本音楽高等学校

音楽コース生徒・他

日時 令和5年2月7日(火)

14時～16時

受付 13時30分～13時50分

場所 きゅりあん1階小ホール

★B見学会(第6回)

行先(バス旅行)

富岡製糸場と

碓氷峠鉄道文化むら見学

日時 令和5年3月16日(木)

7時45分～18時00分

受付 7時15分～7時35分

集合 品川区役所第2駐車場

募集 80名

会費 7500円

(食事・入場料金、保険料付)

詳細内容・申し込み方法

同封のチラシを参照ください。

締切日 令和5年1月23日(月)

★今後の行事予定

(詳細は3月号にご案内)

・定期総会(第24回)4月27日(木)

・第1回見学会5月(場所等別途)